

提供日：令和2年(2020年)10月13日
部局名：総合企画部
所属名：情報政策課
担当：萩原、真溪、森野
電話：077-528-3381
メール：chiiki@pref.shiga.lg.jp

令和2年度スマート自治体都道府県補完モデル調査研究事業の モデル自治体の決定およびモデル事業の開始について

～ 県民等がワンストップで手続きを完結できる環境の実現にむけて ～

令和元年7月に広域自治体である滋賀県および基礎自治体である大津市、近江八幡市、草津市が連携しながら、行政サービスの改革による住民の利便性向上および自治体組織の働き方改革に資する行政事務の効率化を推進するため、ICTを活用した施策についての情報収集、意見交換、調査、取組の実証等に取り組むための「スマート自治体滋賀モデル研究会」を設置し、県民等がワンストップで手続きを完結できる環境を創出、システムの共同利用などについて検討を重ねてきました。

そして今年度、「スマート自治体滋賀モデル研究会」における検討結果を踏まえ、滋賀県および県内14市町（大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、愛荘町、多賀町）が連携し、県民等がワンストップで手続きを完結できるデジタル環境の創出を目指して、「(仮称)滋賀くらしの手続ガイド」、および「汎用電子申請サービス」の調査研究事業を実施しています。

この度、調査研究事業のモデル自治体として大津市、草津市および湖南市が選定され、10月から順次モデル事業（システムの試験運用、内容は以下のとおり）が開始されることとなりましたのでお知らせします。

なお、本事業は（一般財団法人）地方自治研究機構の協力を得て実施される調査研究事業であり、同研究事業の基礎調査機関として、株式会社グラファァーが選定されています。

【大津市】

・くらしの手続きガイド

（ライフイベント）：転入、転出、転居

【草津市】

・くらしの手続きガイド

（ライフイベント）：転入、転出、転居

（新規でライフイベント化できるかの検討）：医療/障がい、高齢/介護

・汎用電子申請サービス

（オンライン化予定手続）：住民票の写しの請求、転出届 等

【湖南市】

・汎用電子申請サービス

（オンライン化予定手続）：住民票の写しの請求、上下水道の開始休止、採用試験申込 等

スマート自治体滋賀モデル研究会の概要

事業目的

県内における行政サービスの改革による住民の利便性向上および自治体組織の働き方改革に資する行政事務の効率化を推進するため、県および県内自治体が連携して、ICTを活用した施策についての情報収集、意見交換、調査、取組の実証等に取り組むこととし、県内市町と連携し、システムや事務の標準化等によりワンストップ行政サービスの実現及び内部管理業務の省力化を図る。

滋賀県による全体総括

構成する県内基礎自治体との連携協力
〔 大津市・近江八幡市・草津市 〕

ベンダー・ベンチャー企業等
多様な主体による事業提案

※R2年度重点取組

各構成団体による提案・実証

- 県・市共通(県民共通)の基盤となる電子申請・施設予約システムの一括調達の実現
- ワンストップ行政サービスの実現(オンライン化・キャッシュレス化の推進)
- 内部管理業務におけるペーパーレス化・電子化の推進
- AI・SNS等を活用した行政サービスの向上・充実
- (仮称)びわ湖オープンデータ構想の実現

実証への参加誘引

※R2年度参加意向団体

彦根市・長浜市
守山市・栗東市
甲賀市・野洲市
湖南市・東近江市
米原市・愛荘町
多賀町

自治体によるシステムや事業の標準化に向けた検討・開発
調達・標準化後の共同管理の実現

Graffer 手続きガイド

スマートフォンから質問に答えていくだけで必要な手続きや持ち物を調べられるサービスです。

もちろん、パソコンからの利用にも対応しています。その他、多言語対応やLINEとの連携も行えます。

選択



質問に答える



確認



Graffer スマート申請

役所に行かず、スマートフォンひとつで手続きが行える申請サービスです。本人確認から決済まですべて手元で行えます。

マイナンバーカード読取アプリにより、専用リーダー不要で電子署名から決済までワンストップで行えます。

入力



署名



決済



申請

